

アプリ・WEB・システムエンジニア養成(午後)科

訓練コース番号	5-07-14-002-02-0251	訓練コース・分野	実践コース・IT分野
訓練実施施設名	とびあITスクール 横浜校（第4教室）		
募集期間「令和7年9月29日（月） ～ 令和7年10月20日（月）」			

« 申込み方法等につきましては裏面参照。 »

【訓練の目標】

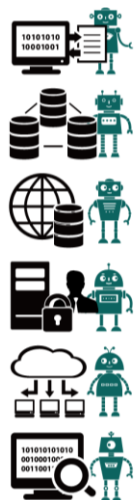
WEBを利用したシステム開発に必要な技術者を目指し、Javaの基礎とJavaによるサーバサイドプログラミングの基礎技術及び、IT業界で注目されている言語Pythonの利用技術を習得。総合的に即戦力となる人材を目指す。

修了後に取得できる資格(任意受験により取得可能な資格)

- ①Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 11(オラクル) 受験料41,773円
- ②Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 17(オラクル) 受験料41,773円
- ③Javaプログラミング能力認定試験2級(株式会社サーティファイ) 受験料6,600円
- ④Python 3 エンジニア認定基礎試験(Pythonエンジニア育成推進協会) 受験料11,000円

就職支援の内容、過去に実施した求職者支援訓練の実績等

IT業界への就職を掴み取ろう！



JavaでWEBアプリケーションやWEBシステムを開発しよう！

幅広く使用されているプログラミング言語・Javaを基礎から習得します。
WEBアプリやWEBシステムの開発など、多彩な技術が身に付きます！

Pythonを学んで、多方面で活躍できるスキルを身につけよう！

Pythonは学びやすさと汎用性の高さから、世界で急速にシェアを拡大している、将来性の高いプログラミング言語です。
人工知能やデータ分析など、多岐にわたる分野のニーズに応えられるスキルを身につけましょう。

実践的なカリキュラムを提携先企業と打合せして作成！

上流工程から下流工程まで、システム開発をトータルで学習！サーバの使い方の基礎に始まり、設計、開発、動作検証、保守まで開発現場のものの考え方が身に付きます。

実務経験豊富な講師陣！

プログラミングの知識がなくても、PCスキルはネット検索のみという方でも大丈夫。ご質問・ご相談に親身にお答えします。
実際のIT業界で通用する人材へと成長していきます。

一人一人に合わせた個別の就職支援！

WEBアプリ、WEBシステム開発など、IT業界の様々な職種へのサポートを、一人一人に合わせて個別に対応いたします。
豊富な提携先との連携により、IT業界への就職を実現して頂きます。

就職の斡旋をします。正社員の非公開求人あります！ ※有料職業紹介事業許可証(許可番号：29-ユ-300098)

とびあのエージェントが数十社の提携先企業のご紹介、面接への同行、入社条件交渉など、調整をいたします。
訓練修了後、3ヶ月間まで継続して就職支援をいたします。提携先企業の説明会、面談会も開催。

本コースは、DX推進スキル標準対応の訓練コースです。

本コースは、就職支援に加えて特定の資格取得についても支援するコースです。

(訓練中、もしくは訓練修了後に資格を取得された場合は、別途資格取得を証明する書類の提出を求めることがあります。)

見学予約は
こちら！



感染症防止対策

感染症を防止するために講じている内容

・マスク着用の協力依頼 ・消毒液の設置 ・登校時の検温 ・定期的な共用部分の消毒

【訓練期間】

令和7年11月20日(木) ～ 令和8年5月19日(火)

(※一部土曜日 訓練有)

訓練時間 16:20 ～ 21:10 ※11/20は16:20～19:10まで
※5/19は16:20～17:10まで

【訓練内容】 ※ 訓練内容の詳細につきましては、説明会(裏面参照)などでご確認できます。

学 科	Javaプログラミング概論①、ドキュメントと管理ツール概論、データベース概論、他	45 時間
実 技	Javaプログラミング実習①、Webプログラミング実習、Pythonプログラミング実習① 他	445 時間
そ の 他	職業人講話	10 時間
合 計		500 時間

《実践コース》

自己負担額（税込み）		受講者が用意する物
教科書代	その他の自己負担額と内訳	なし
16,027円（※注1）	なし	

（※注1）教科書代等について、訓練開始直前に就職等の理由により辞退された場合、当該教科書代等を負担いただく場合があります。

☆気になるコースの説明を聞くことができます。☆

説明会	説明会日程：随時 事前にご予約が必要です。下記の電話番号までお気軽にお問い合わせください。 説明会の際に施設見学が可能です。	
訓練実施機関名	株式会社 個別教育研究所	最寄駅から訓練実施施設までの地図 
訓練実施施設名	とぴあITスクール 横浜校（第4教室）	
訓練実施施設の住所	〒 220-0005 神奈川県横浜市西区南幸二丁目20番5号 KDX横浜リバーサイド 3F	
お問い合わせ先	電話番号 03-6279-1271（代表） 080-3119-0459（担当者直通） 担当 永口 裕一	
受付時間	9:00 ～ 18:30	

☆申込み方法等☆

受講者募集期間	令和7年9月29日（月） ～ 令和7年10月20日（月）
定員	20名 （受講申込者が募集定員の半数に満たない場合は訓練の実施を中止することがあります。）
訓練対象者の条件	パソコンの基本操作（文字入力）が出来る方。
申し込み方法	①ハローワークにて職業相談を行い、訓練受講が適切と認められた場合に受講申込書の交付を受け、必要書類とともに、住所を管轄するハローワークに本人が募集期間内に申し込み手続きをしてください。 ②本人が「ハローワーク受付後の受講申込書提出先」へ直ちに連絡し、ハローワークで受付された受講申込書をご提出ください。
受講給付金	一定の要件を満たした場合、職業訓練受講給付金が支給されます。詳しくは、住所管轄のハローワーク窓口にお尋ねください。

ハローワーク受付後の受講申込書提出先		選考日	令和7年10月30日(木)
提出先住所と宛先	〒 220-0005 神奈川県横浜市西区南幸二丁目20番5号 KDX横浜リバーサイド 3F とぴあITスクール 横浜校	選考会場	〒 220-0005 神奈川県横浜市西区南幸二丁目20番5号 KDX横浜リバーサイド 3F とぴあITスクール 横浜校
お問い合わせ先	電話番号 03-6279-1271（代表） 080-3119-0459（担当者直通） 担当 永口 裕一	選考方法	面接
受付時間	9:00 ～ 18:30	持ち物	筆記用具 ※感染症予防の観点から選考時のマスク着用にご協力願います。
		選考結果発送日	令和7年11月5日(水)

訓練カリキュラム

訓練実施機関名： 株式会社個別教育研究所

(様式A-9)

訓練の種類	☒	基礎コース ()			就職を想定する職業・職種			
	☒	実践コース (02 IT分野)						
	☒	職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	託児サービスコース	短時間訓練コース (月80時間以上100時間未満)				
	☒	「企業実習促進奨励金」の支給 を希望する場合に「○」を記入	「職場見学等促進奨励 金」の支給を希望する場 合に「○」を記入					
訓練科名	アプリ・WEB・システムエンジニア養成(午後)科				Webアプリケーションプログラマー/システムエンジニア(補助者)			
※40文字以内で記入してください。								
募集期間(予定)	令和7年9月29日 ~ 令和7年10月20日							
選考日(予定)	令和7年10月30日							
選考方法	☒	面接	☐	筆記試験	☐	その他 ()		
選考結果通知日	令和7年11月5日							
訓練期間	令和7年11月20日 ~ 令和8年5月19日 (6 か月) (訓練日数 107 日)							
訓練時間	16 時 20 分 ~ 21 時 10 分				訓練定員 20 名			
訓練対象者の条件	パソコンの基本操作(文字入力)が出来る方。							
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	☒	新規学校卒業生	☒	ニート等の若者	☒	障害者	☒	母子家庭の母等
	☒	被災者	☒	外国人	☒	その他 ()		
訓練目標 (仕上がり像)	WEBを利用したシステム開発に必要な技術者を目指し、Javaの基礎とJavaによるサーバサイドプログラミングの基礎技術及び、IT業界で注目されている言語Pythonの利用技術を習得。総合的に即戦力となる人材を目指す。							
訓練修了後に取得 できる資格	名称 (Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 11)	認定機関 (オラクル)	☒	任意受験				
	名称 (Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 17)	認定機関 (オラクル)	☒	任意受験				
	名称 (Python 3 エンジニア認定基礎試験)	認定機関 (Pythonエンジニア育成推進協会)	☒	任意受験				
	名称 (Javaプログラミング能力認定試験2級)	認定機関 (株式会社サーティファイ)	☒	任意受験				
① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)					○			
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)								
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)					○			
訓練概要	Javaによるシステム開発の基礎からサーバサイドまで、総合的なWEBアプリケーション開発を習得。【IT資格】【DSS対応】(日によって訓練時間が異なる場合があるため、詳細については、コース案内をご覧ください)							
訓練内容	科目					訓練時間		
	科目の内容							
	学 科	就職支援	初期支援(就職活動の諸注意)(4H)/履歴書、職務経歴書(7H)/模擬面接(ロールプレイ)(3H)			14時間		
		安全衛生	情報機器作業上の注意点・対策について			1時間		
		Javaプログラミング概論① (基本構文)	Javaプログラムの基礎知識/Javaプログラムの基本構造			5時間		
		Javaプログラミング概論② (オブジェクト指向)	Javaプログラミングによるオブジェクト指向の基礎			5時間		
		ドキュメントと管理ツール概論	システム開発に必要なドキュメントやプロジェクト管理ツールについて			5時間		
		データベース概論	データベースとSQL/RDBMS/MySQL			5時間		
		Webプログラミング概論 (HTML/CSS、JavaScript)	インターネットとWebページ/JavaScriptの概要と記述のルール/イベントハンドラ/関数・変数・配列			5時間		
		Pythonプログラミング概論	Pythonとは			5時間		
	実 技	Javaプログラミング実習① (基本構文)	総合開発環境「Eclipse」の導入/「Eclipse」の操作/コーディング/デバッグ/運用/様々なデータ型の変数/条件分岐(if・switch)を使った計算プログラム/for・while文を使ったループ制御/文字列型/配列/メソッドを使用したシングルタスクのプログラミング構築			55時間		
		Javaプログラミング実習② (オブジェクト指向)	アルゴリズムを使ったプログラミング/複数のクラスとインスタンスの使い方/コンストラクタ・継承などを使ったオブジェクト指向型のプログラミングの構築/ファイル入出力の実践的なコーディング			70時間		
		ドキュメントと管理ツール実習	システム開発に必要なドキュメント/バージョン管理ツール/プロジェクト管理/グループウェア			25時間		
		データベース実習	データベースの仕組み/MySQLの環境設定/基本的なデータ操作/テーブルの作成/ビューの作成/ストアドプロシージャ/トランザクション/副問い合わせ/テーブルの複製			35時間		
		Webプログラミング実習 (HTML/CSS、JavaScript)	Webページの作成/スタイルシートの活用/様々なHTML表現/繰り返し処理/条件分岐/エラー処理/オブジェクト/画像の操作/日付・時刻の操作/フォームの操作/Mathオブジェクト/文字の操作/コンソール/イベントリスナー/セレクトと要素/スライドショーのアニメーション効果			40時間		
		サーバサイドJava実習①	サーブレットの基本/JSPの基本/JSPファイルの実行/フォーム/リクエストパラメータ/MVCモデル/処理の転送			40時間		
		サーバサイドJava実習②	リクエストスコープ/セッションスコープ/アプリケーションスコープ/ロギング機能の作成/サーブレットクラス/リスナー/フィルタ/アクションタグ/EL式/JDBCとDAOパターン/アプリケーションの設計			50時間		
		サーバサイドJava開発演習	Webシステムの開発(スケジュール管理、コーディング、テスト(仕様書の作成、実施、報告書の作成)、レビュー)			40時間		
		Pythonプログラミング実習①	インストール/開発環境構築/制御構文/関数			35時間		
		Pythonプログラミング実習②	モジュール/パッケージ/オブジェクト指向			55時間		
	企業実習	☒	実施しない	☐	実施する	※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。		
	職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】「社会人としての職業観・社会人の重要課題」 株式会社あつとま				5時間		
		【職業人講話】「業務で必要とされる『処理スキル』について」 株式会社あつとま				5時間		
	訓練時間総合計	500時間	学科 45時間	実技 445時間	企業実習 0時間	職場見学等 10時間		
	受講者の負担する費用	教科書代	16,027円			合計 16,027円		
		その他 ()						
		備考 ()						
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	☒	全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する					
		☒	オンラインによっても指導する(当該日通所可・混在型)	☒	オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)	オンライン計 時間		
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	弊社は、従来よりパソコン教室の運営を行っている会社である。訓練を担当する講師の大半は弊社専任のインストラクターであり、パソコン教室の現場からの意見を吸い上げた指導方法を講師間で共有し、職業訓練向けにアレンジする事で、初心者にも理解しやすい授業を行っている。						
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	受講者の訓練状況(現状スキル、意欲、就職状況、今後の活動方向)を個別に管理するシステムを使用。個々の状況に応じた個別のフォローアップを行う。						

※1 企業実習を予定している場合は、様式第10～12号を作成のうえ提出してください。
※2 様式第6号の「日別計画表」を添付してください。
※3 訓練推奨者欄には、特に訓練を推奨する対象がある場合に、当てはまるものの全てのチェック欄(□)に✓を記入してください。
「その他」の場合は、「訓練対象者の条件」欄に内容を記入してください。特にない場合はチェックは不要です。
※4 「職場体験」、「職業人講話」、「職場見学」については、それぞれの時間数が分かるように記入してください。
※5 訓練時間には、キャリアコンサルティング等の時間は含まれませんので、除いて記入してください。
※6 「オンライン計」については、算定対象訓練のうちオンラインで実施する訓練時間を記載してください。